

# 小学4年 国語 「白いぼうし」

ねらい

・「白いぼうし」のシリーズの本に親しみ、学習の意欲につなげる。

## 学習展開（7時間）

- ① 3年生までのファンタジー作品の学習をふりかえり、学習課題を立てる。
- ② 場面設定や登場人物を整理する。
- ③ 不思議な出来事について考える。
- ④ 自分のふしぎを見つける。
- ⑤ 不思議な出来事の根拠を探す。
- ⑥ なぜ松井さんに不思議な出来事が起きるか考える。
- ⑦ 不思議だと思った出来事をまとめる。

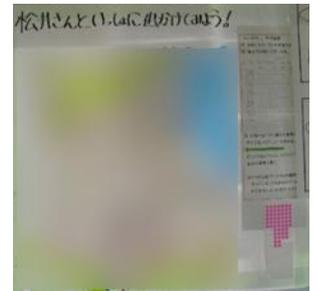
## 指導のポイント

- ・司書によるブックトークで、「車のいろは空のいろ」シリーズの様々な不思議を知り、興味を持たせる。
- ・シリーズに登場する架空の町の地図を掲示し、読んだ本に出てきた地名の場所にシールを貼らせることで、いろんな本に興味を持てるようにした。実際に意欲的にシリーズの本を読む姿が見られた。
- ・シリーズの本をたくさん手にとって読ませることで、「白いぼうし」の不思議とつなげて考えるようにした。

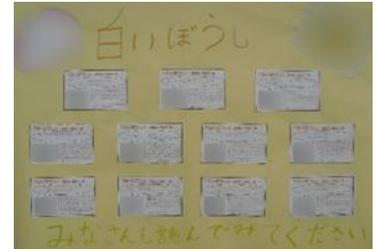
読み聞かせの様子



拡大した地図と単元後のシールを貼った地図



「白いぼうし」で書いたポップ



## 学校図書館との関わり

- ・「車のいろは空のいろ」シリーズを一人1冊準備する。
- ・必ず読んでほしい話を1冊につき1編選ぶ。その時に地図に出てきた場所にシールを貼るためいろんな場所が出てくる話をピックアップした。
- ・「車のいろは空のいろ」シリーズから分かりやすいふしぎな話「たぬき先生はじょうず」と分かりにくいふしぎな話「虹の林のおこうまで」の読み聞かせを行い、出てくる場所の確認をした。